

●学校の概要

1 学校の概要

行田市は、人口9万人足らずの歴史的遺産と自然環境に恵まれた田園都市である。東日本で随一の規模を誇り、国宝「金錯銘鉄剣」が出土したことで知られる「さきたま古墳群」や、石田三成の忍城水攻めをテーマとした和田竜氏の「のぼうの城」でも有名な街である。また、埼玉地域住民の総力で創りあげる「さきたま火祭り」が有名である。

本校は、埼玉古墳群を学区内に有する生徒数149名、7クラス（特別支援学級1を含む）の小規模校であり、ほぼ100%の生徒が近くの埼玉小学校から入学してくる。毎年5月4日の「さきたま火祭り」には、ほぼ全員の生徒がボランティアとして参加するなど、地域との結びつきの強い学校である。また、文部省(当時)



の研究指定を受け、昭和62年から始まった行田養護学校（現特別支援学校）との交流活動はいまだ途絶えることなく現在も継続している。

2 生徒の意識調査より

全生徒を対象にした意識アンケートからわかったことは、地域に誇りと愛着をもっている生徒がとても多いことである。一方、将来この地域に住みたいという意識があまり高くないのは、新たな刺激や可能性、人間関係を求めようとしているとも考えられる。

また、他の項目に比べて自己肯定感が低く、友だちとの人間関係づくりが得意という生徒が少ないことがわかった。上手に人間関係を築けない生徒や、発言力がある生徒に遠慮して自分の考えを言えない生徒もあり、固定化しがちな人間関係の中で、本音を言い合い、お互いを高めあうような関係にはなっていないことがうかがえる。

そこで、自分の思いを伝え、相手の考えを理解する力や、相手の立場を考えながら自分を素直に表現する力を育て、望ましい人間関係づくりを行っていく必要があると考える。

